



—市民公開講座2013— がんと向き合う、

乳腺外科科長 山城大泰

2013年3月10日、呉市文化ホールで市民公開講座が行われました。あいにくの曇天で、少し寒の戻りを感じましたが、約1200人の来場者を得て、盛況のうちに開始されました。

会場では呉医療センターの各部門の区報、がん患者さんのサポート製品の紹介、各疾患の開設のパネル展示やパンフレットの配布などの様々催しもあり好評でした。

第一部『がんと向き合う医療最前線「最新のがんの診断と治療」』では、乳腺外科山城大泰、消化器外科富永晴海、消化器内科河野博孝の3名が講演しました。乳がんについては生活習慣と予防、検診の重要性、乳がんの診断における腫瘍の特性の把握、センチネルリンパ節生検の導入による縮小手術、チーム医療の重要性などにつ

いて紹介しました。大腸がんについても罹患率や罹患リスク、病期・病態、腹腔鏡手術による低侵襲化について解説しました。肝臓がんについては、罹患リスク、病期・病態に応じた手術、ラジオ波、動脈塞栓術、抗がん剤の肝動脈投与などの選択と治療成績について説明しました。第二部『癒しのサウンドブレイク「一粒の種」』では宮古島出身で介護職の経歴を持つ異色のシンガー、砂川恵理歌さんの優しい歌声が会場を温かく包みました。

来場くださった市民の方々、準備に奔走してくださった職員の皆様に感謝いたします。これを機会に少しでも多くの方が検診を受診し、がんの早期発見・治療を心がけていただくように切に祈念いたします。

呉市文化ホール



